

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	勤労センター施設管理事業				担当部	地域活性化営業部				
	会計区分	一般会計				担当課	商工振興課				
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	商工労政係			
	基本施策・展開方向	5 産業・交流	20 商工業	4	就職希望者や未就労者の就労を支援します						
	予算区分	款	5	項	1	目	2	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧勤労センターの設置及び管理に関する条例									
	目的	何・誰を対象に	勤労者をはじめとした市民を対象に								
		どのような状態にするのか	教養文化、スポーツの向上、余暇活動の場である勤労センターの円滑な管理運営の推進を図る。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤労センター管理運営委託料 指定管理者(小牧市施設活用協会)へ管理運営を委託した。 委託内容: 研修施設・宿泊施設・体育施設の利用に関する事務 施設利用に関する機器操作・設備管理・補修・保守点検等 駐車場用地借上料 勤労センター敷地内に存する駐車場用地の借り上げを行った。 対象面積: 8,146㎡(13筆) 借り上げ先: 8名 勤労センター用備品購入費 勤労センターで使用する備品を購入した。 購入品: エンジン式背負い式トリマー、放送ユニット、縦型冷蔵庫 <p>◆平成28年度直接経費の内訳(支出ベース)</p> <p>修繕料(537,871円)、手数料(474,120円)、勤労センター管理運営委託料(125,209,722円)、 駐車場用地借上料(15,933,576円)、勤労センター用備品購入費(1,109,700円)、 勤労センター使用料還付金(41,330円)</p> <p>◆平成29年度直接経費の内訳(予算ベース)</p> <p>指定管理者選定委員会委員謝礼(107千円)、印刷製本費(162千円)、修繕料(1,600千円)、 手数料(32千円)、勤労センター管理運営委託料(235,362千円)、駐車場用地借上料(15,934千円)、 勤労センター用備品購入費(620千円)、勤労センター使用料還付金(120千円)</p>									
	受益者負担	有	<ul style="list-style-type: none"> 勤労センター使用料: 単価は条例に規定(年総額34,919,490円) 勤労センター資料複写代金: 単価=10円/枚(年総額52,480円) 								

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	147,989	149,291	143,307	253,937	
		正職員	従事者数	人	0.15	0.15	0.15	0.15
			人件費	千円	844	844	844	844
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	148,833	150,135	144,151	254,781
対前年比		%		100.8	96.0	176.7		
財源	一般財源	千円	113,617	114,330	109,179	219,431		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	35,216	35,805	34,972	35,350		

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	利用者アンケートによる改善件数	件	目標	—	—	—
実績				7	4	2	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	施設利用者数	人	目標	—	—	—	—
実績			394,644	399,111	392,341		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者である小牧市施設活用協会により、施設の適正な運営を行った。 利用者アンケートによれば、特にソフト面（職員の対応など）での満足度が高く、指定管理者の努力が伺える。 					
		事業実施における課題	勤労センターは築30年以上経過し、老朽化が進んでいることから、所管課として指定管理者との連絡を密に図るなど、現地の状態を把握しながら、施設の安全性を確保するため、また長寿命化を図るため、適切に修繕等を行っていく必要がある。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	引き続き、指定管理者による施設の適正な管理運営を行う。また、現指定管理者の指定期間が終了するため、次期指定管理者の選定を行い、円滑な運営に向けて引継ぎ等の準備を進める。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
削減額・削減対象		事務事業評価による額	20,000	千円	予算区分	13	節	節
判定理由・削減内容		これまで指定管理者として小牧市施設活用協会が施設の管理運営を行ってきたが、協会の解散に伴い、民間から新しい指定管理者を公募するため、民間のノウハウを活用し委託料の削減が図れる見込みであることから、13節の勤労センター管理運営委託料から約20,000千円削減を図る。（委託料総額の比較では約120,000千円の削減だが、活用協会職員退職に係る経費相当分約100,000千円が臨時に発生したものであることから、この分を除いた額を削減額とした）						
	30年度以降の実施内容	平成30年度からの新たな指定管理者と現指定管理者との間で円滑な引継ぎを行い、引き続き、施設の適正な管理運営を行う。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費（一般財源）は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするとともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。